

含有化学物質情報伝達スキームに関する既存の仕組みの概要

1. IMDS

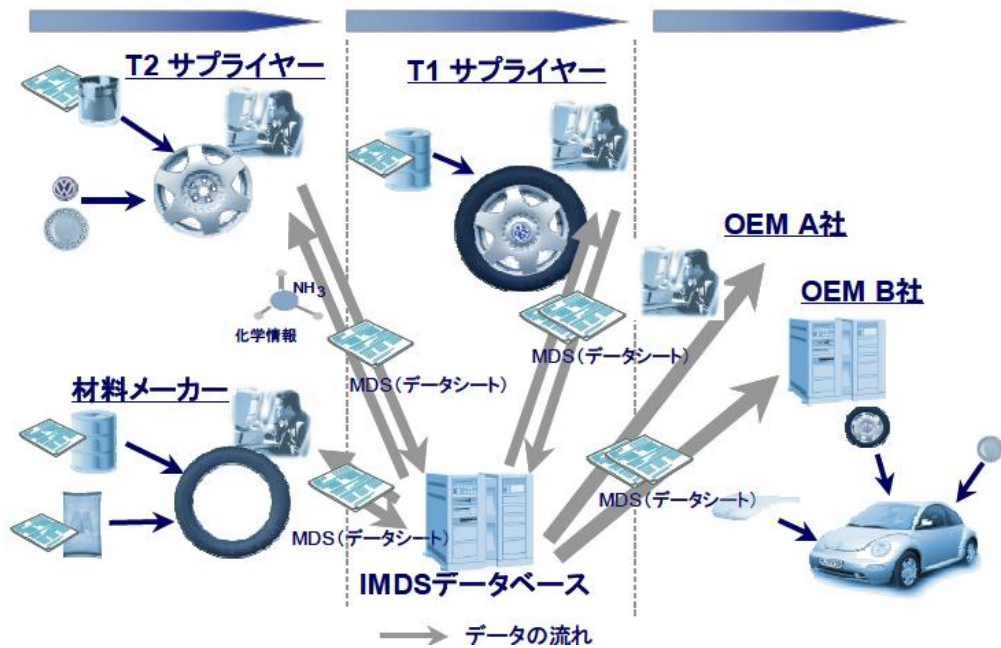
<概要>

運営	ヒューレット・パッカード (HP) システムの仕様は、IMDS ステアリングコミティが決定
対象業種	自動車及び建機
参加自動車メーカー	36 社*1
参加サプライヤ	118,011 社*1
登録ユーザ	303,259 人*1
参加費用 (自動車メーカー)	非公表 (使用実績に従い課金) 過去に 10 億円/年程度との報告あり
参加費用 (サプライヤ)	無料 (IMDS-AI(Advanced Interface)の利用は有料)

\*1 2013年6月時点

<システム構成>

- 集中管理型データベースであり、ユーザは、Web アプリケーションを使う。



「IMDS トレーニングガイド」より転載

<情報の授受の方法>

- 依頼/回答型である。
- まず、納入先がサプライヤに対して、データシートの送信を依頼する。依頼は IMDS-Web を通じて行う。依頼の際、対象とする部品の指定は、サプライヤの品番ではなく、納入先の部番で行う。なお、会社によっては、IMDS 入力 が試作費用支払いまでの必須プロセス化としているため、必ずしも依頼プロセスがあるわけではない。
- サプライヤは依頼通知を受ける (依頼等のイベント発生時に、システムから E-mail を受け取るように設定することもできる)。なお、入力依頼を受けたサプライヤは、入力依頼

を「拒否」することもできるが、多くの場合、開発契約、調達契約で情報開示を契約案件化しており、事実上「拒否」することは、調達契約上の違反行為として契約解除を伴う。

- サプライヤは IMDS-Web を通じてデータシートを作成する。材料や含有化学物質等の情報および送付先（複数可）を入力する。送付先を指定せずに「公開」することも可能であるが、以下の理由から、基本的に公開しないよう求めている。

【公開を推奨しない理由】

- ・公開データシートは作成者以外、誰も承認していないため、品質に疑問がある。
  - ・公開データシートを「承認」または「拒否」することができない。
- データシートを「送信」すると、データはサーバ内に留まり、データ送信側の企業と受信側の企業の間、リンクが作成されることにより、受信側の企業はデータシートにアクセス（閲覧）できるようになる。
  - サプライヤがデータシートを作成する際、部品等を購入していれば、調達先企業と同様にデータシートの送信を依頼して受信し、自身が作るデータシートの構成（子供）として参照することができる。その場合、受信側企業は、サプライヤが参照したデータシートも、（あたかもサプライヤが全ツリー構造を構築して提出したように）見ることができるが、その営業情報（他送信先、他社での品番等）は見ることができない（当該データが「公開」されている場合を除く）。
  - 送付先（すなわち、納入先であり依頼者）が「承認」することで、情報の授受が完了する。「不承認」した場合は、サプライヤが情報を修正して再度送信する。

#### <対象物質>

- 100%フルデクラレーションが基本。ただし、10%までは、特定の化学物質を示さない未指定物質として回答できる（ただし要申告物質や禁止物質（GADSL 掲載物質）は除く）。

#### <CBI の取り扱い>

- データシートの化学物質に「機密扱い」のフラグを立てることができる。フラグを立てると、“confidential substance”という名称に置き換えられ、他社の「トラストユーザ」として指定されたユーザのみがアクセスできる。ただし要申告物質や禁止物質等を機密扱いにすることはできない。
- 直接の取引相手ではなく、その先の取引相手をトラストユーザに指定することができる。

#### <その他>

- GADSL についてのコンプライアンス状況をチェックするなどの分析ツールも利用可能。
- IMDS-AI(Advanced Interface)（有料）を用いると、ブラウザを使わずにプログラムによって IMDS データベースへのアップロード（一括登録）したり、IMDS データベースからデータをダウンロードして、社内システムに取り込んで活用すること等が可能。アップロードのファイル形式は XML、ダウンロード時はタブ区切りのテキストファイル。

## 2. BOMcheck

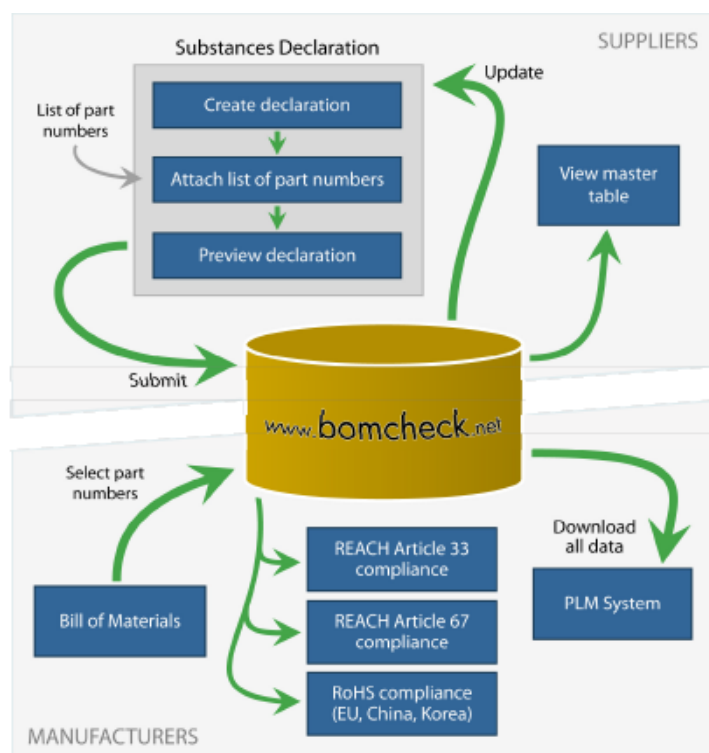
### <概要>

運営	ENVIRON
対象業種	医療電子機器、電気・電子機器、半導体等
参加製造者	480社
参加サプライヤ	3,100社*1
登録部品数	100万部品*1
参加費用（製造者）	無料（サプライヤに対して、BOMcheckに参加してREACH要求事項に順守することを推奨する文書を送ることに同意する必要あり）
参加費用（サプライヤ）	€300/年（年間売上額が€3,000,000未満の場合、利用料が免除）

\*1 2013年5月時点。http://online.wsj.com/article/PR-CO-20130613-909064.html

### <システム構成>

- 集中管理型データベースであり、ユーザは、Webアプリケーションを使う。



“BOMcheck.net User Guide for Suppliers and Manufacturers” より転載

### <情報の授受の方法>

- サプライヤが取得するサプライヤアカウント、製造者（すなわち情報入手者）が取得する製造者アカウントがある。また、サプライヤアカウントと製造者アカウントの両方を取得すると、スーパーユーザアカウント（多くの川中企業が該当）へのアップグレードが無償で受けられる。
- サプライヤは、物質リストから物質を選択し、部品番号リスト(この時の部品番号は、顧客先の部番ではなく提供する品番)をデklarেশョンに添付することによって、自社の化学

物質デklarレーションの提出を行う。その際、電子署名を行う。

- 品番と部番の対応付けをサプライヤと製造者のどちらで行うかは、BtoB で決めることができる。多くの場合は、サプライヤが自身の品番と顧客の部番をマッピングし登録している(マッピングツールは、サプライヤアカウントまたはスーパーユーザアカウント用であるため、顧客側で対応付けを行う場合は、スーパーユーザアカウントの取得が必要)。
- データベースでは、サプライヤの DUNS 番号<sup>1</sup>と、サプライヤの品番の結合をユニーク IDとして格納、管理する。
- 製造者は DUNS 番号およびサプライヤの部品番号で情報を検索する。
- サプライヤが登録した品番のステータスが更新された場合、自動的に対応する顧客の部番のステータスが更新される。

#### <対象物質>

- 法令コンプライアンスデklarレーション(RCD)とフルマテリアルデklarレーション(FMD)のどちらかを選択できる。RCD の場合、対象物質が変更されるたび(SVHC 候補物質リストの追加については6か月ごと)にデータを更新しなければならない(システムから更新依頼が通知される。また、1年以上更新されないと「期限切れ」のステータスが付される)。FMD(95%以上の報告が FMD の要件)の場合、法令改正等により対象物質が変更された場合、システムが自動的に FMD から RCD を再作成するため、更新は不要(使用材料変更等のイベント時の更新は必要)。
- 大手製造メーカーの多くは、FMD を推奨している。

#### <CBI の取り扱い>

- 開示方法として、1) 公開 2) 製造者リストから公開先を選択 3) 自分自身のみ閲覧可能とする(FMD の場合に限る) の3つから選択できる。また、特定の顧客には FMD を提供し、その他の顧客にはシステムが自動作成する RCD 部分のみを提供することも可能。
- 上記は、デklarレーションに対して設定でき、特定の物質範囲について設定することはできない。

#### <その他>

- サプライヤの化学物質管理支援機能が充実している。たとえば、規制情報の提供や遵法状況のチェック機能、EN50581 に準拠した技術文書作成機能等である。また、自社の登録データについて、CSV 形式、IPC1752A 形式(XML)、JAMP の AIS 形式(XML 形式)でのダウンロードが可能であるほか、BOMcheck に参加していない顧客に対して、BOMcheck から遵法に関する PDF レポートを直接 E-mail で提供することも可能である。
- スーパーユーザーは、BOMcheck を自社の IT システムのように使うことも可能である。

<sup>1</sup> DUNS (Data Universal Numbering System)番号:9ケタコードの会社識別番号。BOMcheck では1社ごとに1つの番号を使用。

### 3. JAMP-IT

#### <概要>

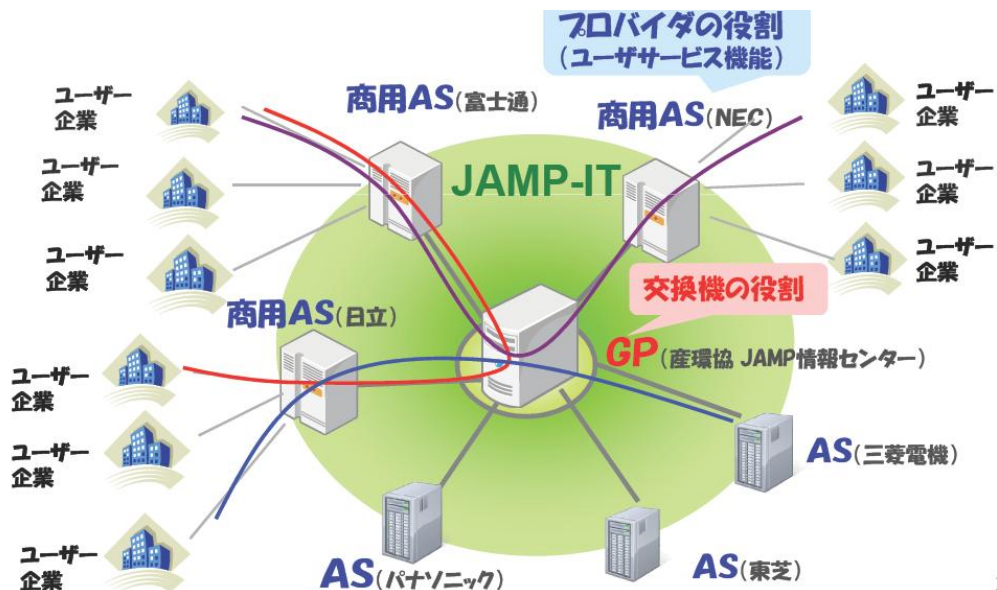
運営	GPは(社)産業環境管理協会 JAMP情報センターが運営。 AS(商用)は、各ASのベンダーが運営(NEC、日立、富士通)。 AS(自社用)を持つ企業もある(三菱電機、東芝、パナソニック)。
対象業種	電気・電子、化学メーカ、機械メーカ等
会員数	GP会員 110社*1 SME会員 115社*1
登録シート数	210,115
登録製品数	78,082
参加費用	<GP> 年会費:0~1万円/年 利用費(情報提供のみ):無料 利用費(情報入手・提供):5~50万円/年(会社規模による) <AS> 初回登録料:1~2万円(ASによる) 基本機能:2000円/月~(従量制) オプション機能:有料(ASによる) ※中小企業向け無償利用サービスあり

\*1 2013年9月時点。

#### <システム構成>

- GPと複数のASで構成。GPは、いわば交換機の機能で、どのASにどの企業の製品が登録されているかの所在情報を持ちAS間の情報交換を行う。配信履歴を蓄積しており、更新された情報を自動送信することが可能。ASはJAMP-IT利用者の直接窓口としてAISやMSDSplusの情報を登録したり入手した情報を蓄積・参照する機能を持つ。材料や含有化学物質の情報は各ASにあり、GPはそれらのデータを持たない。

➤



「JAMP-ITの概要と事業の動向」(AMP情報センター)より転載

#### <情報の授受の方法>

- 基本的に配布型を想定しているが、依頼も可能。
- 提供者は、JAMP が提供しているツールで AIS や MSDSplus のデータ(XML 形式)を作成する。
- 提供者は、契約している AS に対して上記データを submit する。その際、配布先情報（公開範囲）も登録する。登録データは提供者の企業 ID と製品型番をユニーク ID として AS のデータベースに格納、管理する。ただし、提供者の製品型番(品番)と顧客先の部番の対応付け情報を別途 AS に登録して変換機能を利用する事もできる。
- データ入手側の企業は、JAMP-IT を通じて登録されたデータを入手する。欲しい情報が未登録の場合、JAMP-IT を通じてサプライヤに登録依頼もできる。依頼に応じてサプライヤが情報を登録すると、その旨が自動的に登録依頼者に通知される。
- 提供者が登録内容を更新した際には、過去に提供済みの全顧客（システム側が把握）に、変更通知が届く。

#### <CBI 情報の取り扱い>

- 提供者の製品型番(品番)ごとに、「公開」または「特定の顧客に開示」のどちらかを選択することが可能。
- 上記設定は、製品型番(品番)ごとの設定であり、特定の成分に対して設定することはできない。

#### <その他>

- 中小企業向け無償利用サービスを提供している。具体的には、産環協が費用負担して情報流通基盤（JAMP-IT）の商用 AS 内に SME が利用可能なサービス領域を確保し、SME に無償で利用提供する。
- 商用 AS は、AIS や MSDSplus の流通を行うだけでなく、化学物質情報伝達に関連する各種サービス（集計・管理機能や進捗管理機能、商社用機能など）を提供している。